

Trip.com、国際スポーツイベントに関する最新旅行トレンドを発表 ～日本人の航空券予約数は前年比 250%増、世界で最も早く観戦旅行を計画～



グローバルオンライン旅行サービスプロバイダー、Trip.comは、今夏に北米で開催される国際スポーツイベント期間中の旅行予約動向を発表しました。Trip.comの予約データによると、日本人旅行者による大会開催都市への航空券予約数は、大会前半期間において前年比250%増となり、調査対象市場の中で最も高い成長率を記録しました。

さらに、日本人旅行者は複数都市を周遊する割合や予約の早さでも他国を上回り、国際スポーツイベントを目的とした旅行需要の高まりが明らかになりました。



日本人旅行者の30%以上が複数都市を周遊

大会前半期間中、日本人旅行者の30%以上が2都市以上を訪問する旅程を予約しており、調査対象市場の中で最も高い周遊率を記録しました。

また、大会期間中に日本人旅行者の約10%が[アメリカ](#)、[カナダ](#)、メキシコの複数開催国を横断して移動しており、試合観戦を中心とした広域周遊旅行の傾向が見られました。

日本代表戦開催都市への需要が集中

予約データによると、日本人旅行者による航空券予約が最も多かった都市はダラスでした。一方、大会後半期間ではロサンゼルスが最も人気の目的地となっています。

メキシコ開催都市の人気も急上昇

大会開催地であるメキシコのモンテレイではホテルの予約数が前年比40倍超、グアダハラでは10倍超、[メキシコシティ](#)では150%増加しました。

特に、日本、[韓国](#)、[オーストラリア](#)からの旅行需要が、メキシコを含む北米周遊旅行を後押ししています。

日本人は世界で最も早く観戦旅行を計画

大会前半と決勝トーナメントでは、予約行動に興味深い違いがみられます。7月に行われる決勝トーナメント向けの旅行者は6月の大会前半の旅行者よりもさらに早い段階から計画を進めています。大会前半では航空券の予約リードタイム（予約から出発までの日数）が80～95日であるのに対し、決勝トーナメントでは96～127日前から予約がおこなわれています。

特に日本は世界の中でも最も早く観戦旅行の計画を進めている市場であることがわかり、日本人旅行者が早い段階から航空券や宿泊施設を確保する傾向がみられました。こうした結果から、代表チームの活躍への期待を背景に、早期に旅行計画を立てる旅行者が多いことがうかがえます。



日本人旅行者は「短期集中型」

旅行日数を見ると、日本人旅行者は大会前半期間で平均8日間、決勝トーナメント期間で平均11日間と、調査対象市場の中で最も短い滞在日数となりました。

限られた休暇の中で試合観戦を中心に旅程を組む、日本人ならではの効率的な旅行スタイルがうかがえます。



Trip.com は今後も、スポーツ観戦をはじめとする体験型旅行の高まりに対応し、世界中の旅行者により便利で快適な旅行体験を提供してまいります。

Trip.com(トリップドットコム)について

Trip.com は、48 の国と地域の 27 言語および 44 の現地通貨に対応した国際的なワンストップトラベルサービスプロバイダーです。世界 220 の国と地域にある 170 万軒以上のホテルと、3,500 の空港を発着する 680 社以上の航空会社のフライト、そして 30 万以上のアトラクションや現地ツアー商品を網羅した巨大なネットワークを有する Trip.com は、24 時間年中無休の世界水準の多言語カスタマーサービスに加え、エジンバラ、東京、ソウルに設置されているカスタマーサービスセンターから、世界中の何百万人も旅行者が作る「最高の旅行体験」をお手伝いしています。

URL: <https://jp.trip.com>

[航空券検索はこちら](#) [ホテル検索はこちら](#)